

科目コード TT0214
許可整理番号 000086

tamagawauniv.
学籍 25031846
松山 雅考

「お知らせ・個人連絡」から 本人認識のためのURL西信をクダヤ

→ここから入室する

生涯学習概論 演習問題

【第1分冊】

I 生涯学習の理念と現代社会(p.9)

1 生涯学習の理念

(1) 孔子等の生涯学習論の特徴 (世阿弥)

・自己修養型の生涯学習論。 社会との関わりについて言及されていない

(2) 今日の生涯学習の理念の基となったのは誰がいつ提唱したものが。

1963. フォール・ラングラン UNESCO 成人委員会

社会の様々な変化に対する「挑戦」
その特徴は何か 学習社会に垂直的次元(人生の進行の経過)と水平的次元(並行して多様な活動)の両面から
生涯を通じて学ぶことの重要性を提唱。

(3) 孔子等の生涯学習論とラングランの生涯教育論の違いはなにか。

孔子等は一本線(単線の学び: 時間軸)で自己を継続的に高めていく(学下)
ラングランは、社会との関わり、変化への対応、必要性に応じた多様な学びに科挑むことにより

2 生涯学習論の改革論的視点 生じるための学びの性格も変える。 (新しい連鎖)

(1) ラングラン、フォール、ジェルビの生涯教育論の特徴と比較

UNESCO ラングラン フォール 人間の完成(Learning to be)のための学習社会の形成
ジェルビ 社会の制度の刷新と企図が求められる(元不健全で、対極的状態にあおられて社会の再清化への教育(抑圧)による環境にあおられている)

p.24. (2) 学習の4本柱とは Together know do live be
知る 為す 生じる 成る
学び 協働 共生 人間性
自己選択により 社会にあらわす力にも変化しうることが可能(解放)
重要なのは 自己決定(自己志向性)。 自己変革に伴う社会改革

(3) 生涯教育と生涯学習の違い (p.29)

主体のちがう 社会改革としての教育。 生涯学習を支える制度にこそ考慮
主体的な自己決定型学習 学習と社会の相互に影響し合う関係。
↓
「学習権」宣言

3 生涯発達と生涯学習

(1) ハヴィガーストの発達課題論の特徴 p.33

生涯の各段階に発達課題が存在する。 67の発達段階 変化への対応 行動と社会的役割 心理社会的発達 認知発達理論

身体的成熟 / 社会的圧力 / 個人的価値と自己の相互作用で生じる → 達成するまで認められ
(2) 学士力とは 社会に求めた外的役割 行動 自分から生じたもの。 幸福になる

社会人基礎力とは p.36

→ 各人の専攻分野に関する知識・理解 経済的
汎用的技能 (知的活動、職業生活、社会生活) 生活上必要の技能
態度 志何性 (自己管理、リーダーシップ、チームワーク)

3能力 12のスキル Action Thinking Teamwork

キーコンピテンシーとは

- 2003 OECD ① 相互作用的に道具を用いる力
- ② 自律的に活動する力
- ③ 異質な集団で交流する力

成人力
課題を解決する力
課題を分析考へる力

(3) 発達論の脱構築とは

人生100年時代の生涯学習政策の方向性 = ライフデザイン

4 海外の生涯学習

Education for All (p.46)

ワークライフバランス 中年期・老年期の生涯課題への対応 → フレキシブルな対応 (p.42)

(1) ユネスコが提唱するEFAの意義は

EFA: 万人のための教育

MDGs: ① 識字

基礎教育を受け非識字を解消

(2) ヨーロッパ連合の生涯学習政策の特徴

知識基盤社会と人材育成と共生社会の
実現を目指す政策を探っている 個人の自由

p.47 教育を受ける権利は万人にある

「ユネスコの考え方をアクションプランとして示し、
教育実践の方向を共有させた」

(3) アジアの生涯学習政策の特徴

「こぼれず」社会改革的視点と見据える政策を具現化しては
人的資源を意識して教育訓練
地域エリアでの生涯学習施設での学習プログラム構築

II 生涯学習を支える社会教育 (p.57)

5 社会教育の本質

(1) 戦前と戦後の社会教育の違い

戦前: 中央集権的性格を教育の面から支える

「国力の増強のために国民の意志を統一する」

戦後: 民主主義と更に国を発展・復興させる

地方自治の尊重、自立的な地域づくり。

(2) 社会教育法における社会教育の定義の利点と課題

「民主主義」文芸者の著作

・社会教育は「市民の学習権を保障する公共の営み」である。

本質である学習権の保障・人づくりに立ち戻ることが重要である。

① 多様な学習活動が展開される

② 社会教育の固有性・専門性が幅広くなると見えてくる

(3) 総合教育性とは p.65-66

現場の営みによって目的・内容・形態・成果・課題が
様々であり制度上の概念が「不釣り合い」

課題を多面的に見て評価する視点

相互教育性とは

他の住民と交流して話し合ったりして知恵を出し合う

生活上の課題の解決
自己の興味関心と実現するために

実践教育性とは

方向を見極めて実践する

6 社会教育の固有性と実践

→ 固有の意義・役割が見えにくいため、地域や発展に生かされにくい

(1) 生涯学習と社会教育の違い (p.68)

教基法3条 p.6/長

(理念規定) (実施規定)

理想の社会像 行うべきこと、実際に愛される営み

理念

個人は社会と
どう関わるか

社会を創るうえで個人は
どう関わるのか

(個人の営みが
人生の中心)

(本質的な社会づくり)

誰しもが、特別な物語を生きたために、

BREXIT

(米) リバタリアレ

~~米~~

(2) 学校教育と社会教育の違い P.71.0表

学: 国の求める人材育成・普遍的価値の伝授・均質な集団

社: 課題の解決、自己実現を通じて地域を創る人づくりの性格がある

(3) 成人の学習者の4つの特徴 アドレコジ-論(ノールズ) P.73

- ・自己概念(自律的パーソナリティ)が確立している
- ・経験(学習資源)の蓄積...他者への影響 共に学ぶことで補いあえる

省察

← 0 体系化課題の解決志向。 0 直面する課題が高まって学習の必要性が高まる

(4) 地域における社会教育実践の意義を、成育空間の変遷に基づき説明しなさい(P.74)
society 2.0 ~ 3.0 ~ 4.0 社会変革の1/2世紀時代、リアルな体験が失われつつある
(マズン) (巻末)

社会の切り口は残っている存在を7つ挙げる

意図してかわらねばならないこと、協働すること

を通じて、社会と接し社会の諸活動に参画すること、意義がある

7 社会教育行政

◇横須賀市の課題として、社会教育として行われている講座・教室とES等で実施されている講座・教室の特徴や違いが見えにくくなり、生涯学習施設に専門的職員を配置する必要性が認識されていない現状がある。

(1) 社会教育を推進するうえで大切なこと(コンセプトに基づいて)

- ・住民の学習の自由を保障した条件整備・アクセス平等性
- ・地方自治体を中心とした社会教育体制であることが望ましい
- ・地域の現状、地域課題に根ざす社会教育の実現(エリア固有の課題にアクセスできる)

・経済的な理由で学びが困難である方、ハンディキャップのある方、困り感のある方、居場所を失っている子どもたちへの学習権の保障や支援が十分に行き届いていない現状が見られる。

主事の支援



施設整備
団体の育成
事業実施

(2) 社会教育はどのような構造か 地域Eステージとして

p83 (3) 社会教育計画における主事の役割 社教法17条「社会教育に関する諸計画を立案」

利害の異なる主体が一定の方向を目標として協働することを通じて、地域全体として最大の成果

【課題として】 考えられるよう報じていく。実施内容が住民の求められているものと合致しているかという

・専門職員の配置が軽視される傾向にある。

・必置となる学芸員を除けば生涯学習部門で職務にあたる職員が短いスパンで異動してしまい、生涯学習の充実の視点での知識や経験が不足しがちになる傾向がある。

・社会教育委員の役割が形骸化している。社会教育施設の課題の認識がうすい。

・生涯学習に根差した活動が一部の市民だけのものとなりがちであり、裾野が広がらない状況が散見されている。

・指定管理制度へ移行された生涯学習センターの事業においては、行政的成果につなげる(成果をあげる)ことが重視され、現代的課題に根差したテーマを設定しづらい傾向がある

- ・現状把握
- ・将来予測
- ・課題提示
- ・理念抽出
- ・施策
- ・進捗管理
- ・評価

(P.84)

る。また、指定管理の期間に関しても長期のスパンで目指す生涯学習の講座を組み立てづらく、安定した運営を図ることの難しさを抱えている。

8 専門施設としての図書館と博物館

(1) 社会教育施設の「継続性を保障する装置」としての意味 (p.89)

人間が成長し、社会が豊かになるには一定の学習プロセスが必要。そのために物理的空間の存在と機能を明確にしている組織の存在が必須である。いつでも自由に学びを提供するために、欠しなくてはならない存在であることに意を込める。

(2) これからの図書館サービスに求められる新たな視点 p.93

課題解決支援機能(レファレンス、レファラル、パスファインダー)

時事情報提供 著作権をわかりやすく意識させる

(3) アメリカと日本の学芸員体制の違いの比較

p.97. 専門分化型(米)

日本では学芸員のカバーする業務が多く負担が大きい。

それぞれの課題は?

研究における分業

教育研究を併せ持つ

学校教育への貢献

◇横須賀市の社会教育施設の課題

・工夫ある展示や企画を創出するも、立地の問題やアクセスの案内が困難で来館者を誘引することに苦慮している。

・学芸員の専門分野など、学校教育への利活用の推進の観点から連携が十分な状況ではない。

・つながりを生むことが地域・家庭・学校の連携の観点からも必要であるが、つながる場を設けることに苦慮している。

◇図書館の課題意識

・専門分野に係る職員の不在(古文書)

・施設の問題(温度変化への対応、修復技術の不在)

・寄贈資料の確認作業に割ける時間的、人的余裕の不足

・図書リクエストの対応への時間的、人的余裕の不足

・企画展示やレファレンス・市民協働への取組の余裕がない

・利便性を高めるサービスに時間をとられる。

・施設老朽化

・学校との恒常的な連携 学校司書とのネットワークはあるものの・・・

【第2分冊】

III 地域コミュニティを創る協働(p.99)

9 公民館の役割と展開

まず前提として、全国的に公民館の廃止とコミュニティセンターへの移行や、社会教育行政において教育委員会から首長部局への移管が進行することによって、社会教育の専門性や制度が揺らいでいることが現状の大きな課題である。

◇横須賀市の現状

平成 20 年 4 月、教育委員会が所管し運営してきた公民館と市民部が所管し運営してきた地域自治活動センターが統合となり、市民部が所管するコミュニティセンターが設置された。社会教育に関する事業の継続のために、「教育委員会の権限に属する事務の一部を市民部長に委任する規則」が制定された。

この結果として、CS では「地域づくり」が主眼となる一方で、学びとの連関の側面にスポットが当たらなくなってきた。

人口の減少や税収の減少に伴い、市民サービスの低下を最小限に抑えつつも合理化を進める傾向にあるため、CS の廃止等で生涯学習の場を失い、活動が低調になる地域が発生する懸念もある。

→文科省(2010)「公民館、リフレート

フドウ まなぶ 瓦すぶ(ネットワーク) p103

- (1) 公民館における学習の特徴を公民館区という言葉を用いて説明しなさい
地域(の)はかりの再生「フドウ まなぶ 瓦すぶ」の機能を果たすため、社教法第20条に規定された「一定域内の住民のため」の趣旨に照り、公民館区が22条に示された市民活動の場の提供と学習保障に資する事業を展開していくことが公民館における学習の
- (2) 公民館事業の特徴と禁止事項 特許に扱われる
社教法第20条の規定により営利目的の事業、特定政党の利害に係る活動、特定宗教の支持に資する集会や講演を公民館で行うことは禁じられている

要点として

- (3) コミュニティ学習センターとは (CLC) p109
公民館類以外の社会教育施設、Asiaでは識字教育(所得向上)生活技術教育の場として位置づけられ、合弁・行専・学協の場として提供されている。単なる学びの場と異なり、付随的な効果としての相談機能やエンパワーメント機能を併せ持つ

10 ボランティア活動と市民活動 自由で主体的な意見に基づく活動 (インセンティブを排する)

- (1) ボランティア活動の意義と課題 地域課題
「新しい公共」の考えに基づき、他者のために対し、自己の強みと可能な範囲内で、自発的かつ自発的義務感で提供する活動の実践を促すことで、地域の他者とのかつかりが生まれ、当事者との対話や活動の過程で発生する新しい発見や気づきを得て、動態的情報を生み出し、
- (2) 市民活動における学習について、グラウンドワーク三島を例に説明しなさい。目に見えない裏面側を得る契機となる。課題として、ニーズの正確な把握と、関係者の生活や人間関係の調整を十分に図ることがある。
- (3) 市民活動が抱える3つの課題とは 組織の結束力を高め、成果につなげた。各団体の目的の差から生じるごみも互いのリソースを委譲、信頼関係構築を活動資金調達における問題解決、活動終了後のフォローアップの効果

資料が共有できるような共有している

11 学校・家庭・地域の連携協力 ②地域団体との信頼関係の構築が望まれた。

(1) 学校・家庭・地域の連携協力が推進されるようになった背景は 相互学習の場の設定 H29 の社会教育法の改正により新たに地域学校協働活動の推進が求められ、社会教育の

前掲 2006. 教育基本法改正 学校・地域 相互連携協力に待った努力義務 学校教育への負担の偏り

(2) サービス・ラーニング(米) p.164.

体験学習の中で、地域と肉付きぐりを推進する仕組みの学習制度
理論と実践を有機的に結びつけ、市民としての責任を学ばせ、地域や社会

p.165 (3) 遠隔教育の利点と課題はなにか この関係において自分の人生をどうさせる(生涯学習者の声)

(調) 社会人の学びの阻害因子である時間・距離・時期の制約をのりこぎするためのメディア活用を導入
した教育方法(米) 対面によるコミュニケーション機会が少なく、議論・ディスカッションの機会が減少

15 学習成果の評価とキャリア教育 複雑ななまれにくく、メリット有

(1) 生涯学習社会の意義と現状について説明しなさい。

人々が年齢・立場を問わず、自由に学ぶことができる社会が実現できることにより、[自己の充足、
キャリアの実現](幸せに生きる)ことができる社会が構築可能となる。学んだことが実践として
社会が

(2) 国際的に競争的環境が醸成されてくることの影響を説明しなさい。

社会の中で自己の目指すものに対して、学びの成果を示す尺度が示されるよう、国際的
レベルでの英語材料が示されている分野がある。日本では学歴や資格にお
き評価される時期が長く、そこから脱却に向けて、学習の成果とキャリアアップが同期する
ことが期待されている。

(3) キャリア・アンカーとは

自分のキャリア選択において重視される価値観・欲求を8つの分類で示した
米心理学者のエグ・ハズマンにより示された。自己のキャリア選択・決定においての
指針となると同時に、自己が何を学ぶべきかを決定する材料にもなる。

◇横須賀市社会教育委員会議「社会教育・社会教育施設の在り方について(提言)」

(H30.3.30)

生涯学習社会は一人ひとりの生活を豊かなものとするために生活や社会の中で出会う課題を
解決し、自己実現に向かうための営みを支える社会の在り方である。

生涯学習はそのために、いつでもどこでも自由に学ぶことができることと、実践的であ
ると同時に人々をつながりながら学ぶことに意義がある。
そのためには、社会変革につながるアクションが必要となるが、現状として学びの成果が
社会の中で評価されるシステムの構築が進んでいない。現状を踏まえ、海外においては、
学びの標準を客観的に評価する規格が示されているため、制度として学習成果が
社会的に認証されるよう、各分野での制度設計がなされることを期待したい。